

# 浚渫事業の例

窒素・リン等の栄養塩類を多く含む底泥の浚渫を行い、栄養塩類等の溶出を防ぎ、湖沼水質の改善を図る。



浚渫(諏訪湖)



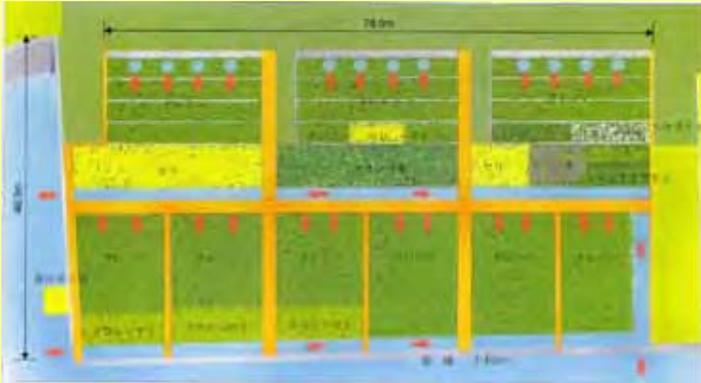
浚渫船(霞ヶ浦)

## 実施箇所

- ・ 霞ヶ浦 < 湖沼の底泥の浚渫 > (直轄河川環境整備事業)
- ・ 手賀沼 < 湖沼の底泥の浚渫 > (河川環境整備事業費補助)
- ・ 諏訪湖 < 湖沼の底泥の浚渫 > (河川環境整備事業費補助)
- ・ 琵琶湖 < 湖沼の底泥の浚渫 > (河川環境整備事業費補助)

# 植生浄化の例

水生植物による汚濁物質除去のメカニズムを活用し、湖沼の直接浄化を行う。



## 植生による水質浄化(霞ヶ浦)

### 実施箇所

- ・ 霞ヶ浦 < 植生浄化 > ( 直轄河川環境整備事業 )
- ・ 中 海 < 植生浄化 > ( 直轄河川環境整備事業 )
- ・ 宍道湖 < 植生浄化 > ( 直轄河川環境整備事業 )

# 穴道湖における湖岸植生の例



# 覆砂事業の例

良質な土砂で覆砂を行うことにより、汚濁した底泥からの窒素・リン等の栄養塩類の溶出を抑制する。



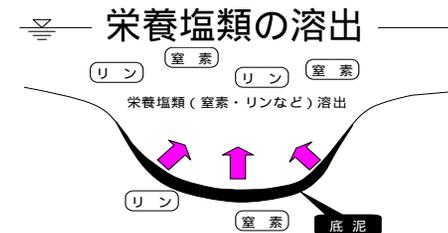
覆砂施行状況

## 実施箇所

- ・ 中 海（直轄河川環境整備事業）
- ・ 宍道湖（直轄河川環境整備事業）

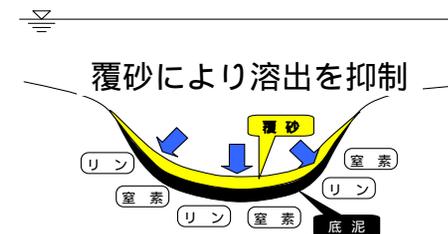
## 覆砂事業のイメージ

### 【実施前】



窪地覆砂の実施

### 【実施後】



# 導水事業の例

治水及び利水事業と併せて、流量の豊富な河川から汚濁の進んだ湖沼への浄化用水を導入し、湖沼の水質の改善を図る。

手賀沼では、**モニタリング委員会を設置**し、水理・水文・水質・動植物等に関し、モニタリング調査を実施。



## 実施箇所

- ・手賀沼（直轄流況調整河川事業（H11完了））
- ・霞ヶ浦（直轄流況調整河川事業）

# 現行の湖沼計画にも位置付けられている事業

現行の湖沼水質保全計画には、河川管理者の実施する様々な浄化対策が位置づけられている。

## [ 霞ヶ浦の例 ]

### 流入河川等の直接浄化対策

- ・ 流入河川河口部等において、ヨシ原等を利用した植生浄化施設の整備  
沈殿池を含む湿地帯を利用した降雨初期の汚濁負荷の削減
- ・ 霞ヶ浦を取り巻く堤脚水路に薄層流水路を併設し、せせらぎが持つ浄化機能を利用する
- ・ 生態系の持つ自然浄化機能を活用するため、動植物の生息・生育環境や景観・空間利用などの河川環境に配慮した多自然型川づくりの推進

### 湖沼の浄化対策

- ・ 国は有機質汚泥の堆積に起因する水質の悪化に対処するため、底泥しゅんせつ等の事業を推進する。
- ・ 国は既存の水利用に支障を与えない範囲内で、那珂川及び利根川から霞ヶ浦へ導水する。
- ・ 国は、ヨシ、マコモ等の水生植物帯の造成を促す前浜及び植生帯の保全と整備、減少しつつある湿地の回復を図るなど、多様な生態系を生かし、湖沼環境の保全と回復に資する施策を地域生態系に配慮しながら推進する。